

高曽根山スキー

佐藤 利伊

- 山行年月日:2021 年 2 月 28 日
- メンバー:大竹幹衛、大竹尚子、斎藤美和子、佐藤伸也、杉崎圭洋、外島正明、石川貴大、佐藤利伊
- コースタイム:林道駐車場 7:40～沢筋 終点 10:20～山頂 12:00/13:00
～尾根分岐 13:20～林道駐車場 15:00

今日は快晴が保証された一円玉天気（これ以上崩れない）、格好のアウトドア日和である。

高曽根山の一般的ルートと言えば大塩の蘭峠からの林道経路が普通だが、今回は幹衛さんお勧めの桧原湖からのルートとなった。桧原から林道を少し進んだ所に車をデポし高曽根山の肩に突きあがる枝沢から入山する。積雪は多いといっても例年より少なく所々口が開いて蛇行しながら雪が埋まっている箇所を選びながら登高する。

肩に着くと回りはカラマツ林で上部はブナ林と変化する。そこから一気に急登が稜線まで続き、気温も急上昇で雪質もパウ



標高 1200m付近のブナを見上げる

ダーからスップ雪に変化し私の古いシールにはボッコが付着し登高を悩ませた。歩き始めて4時間山頂に到着そこには360度の大パノラマが待っていた。思い思いにゆっくり楽しい昼食を味わい景色を堪能した。

13:00 下山開始、肩までルートは一緒である。そこから左の尾根に入り斜滑降



山頂は遮るものがない絶好の展望台

で滑り降り枝沢の右岸を巻くようにルートを選び、まるで林間コースのように危険な箇所はない、1時間半で広い台地に到着、そこから林道を滑り車道に戻った。

同じ山でも違ったルートでの楽しさを実感しました。皆さん大変お世話になりました。



喜多方から登って方にとってもらった

